

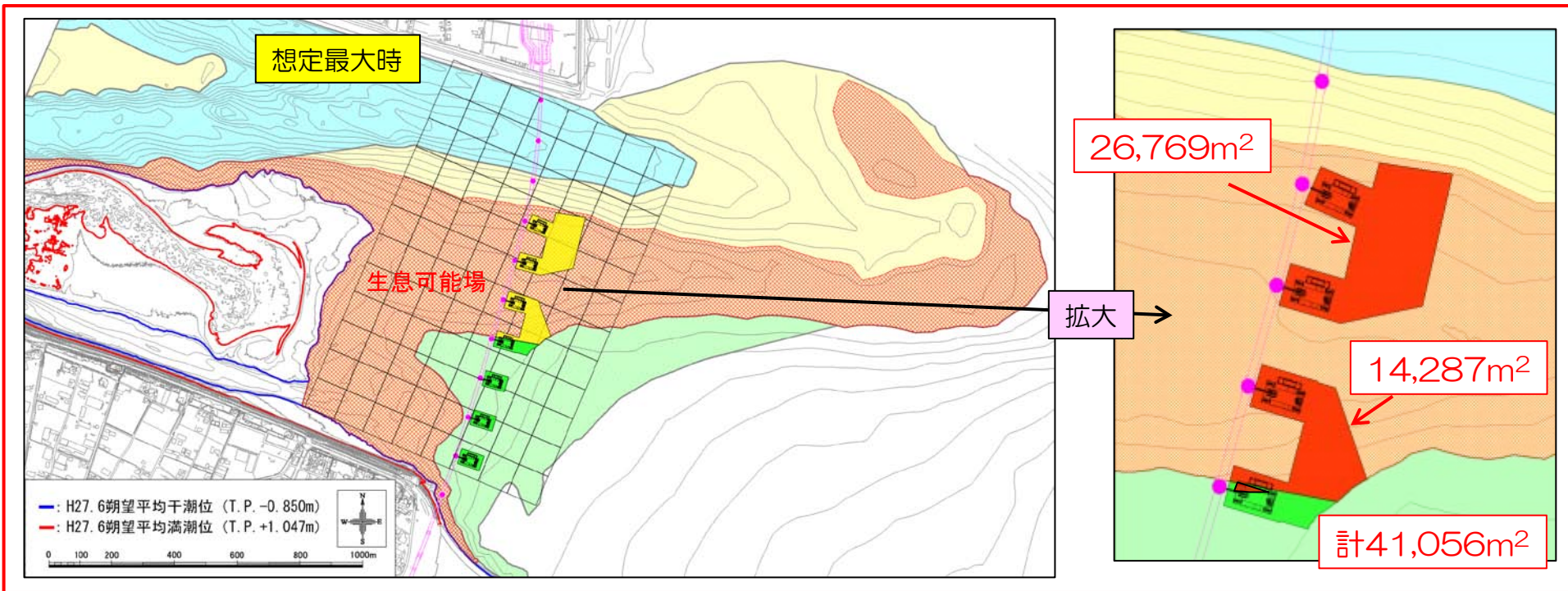
■底生動物のハビタット区分の検討⑯ ～区分1の指標種の生息範囲に対する浚渫の影響評価～



ハビタット区分1の指標種の生息可能場に対する浚渫の影響を定量化した結果を以下に示す。

- ①平成27年度濁水期は、フジノハナガイに対して0.05%、バカガイとヒサシソコエビ科に対して0.03%の影響になることが確認された。
- ②想定最大時は、フジノハナガイに対して4.0%、バカガイに対して2.6%、ヒサシソコエビ科に対して2.7%の影響になることが確認された。

例：フジノハナガイの生息範囲に対する想定最大時の浚渫範囲



項目	フジノハナガイ		バカガイ		ヒサシソコエビ科	
	m ²	割合	m ²	割合	m ²	割合
生息可能場面積	1,019,679	-	1,539,650	-	1,542,221	-
平成27年度濁水期	482	0.05%	482	0.03%	482	0.03%
想定最大時浚渫面積	41,056	4.0%	40,289	2.6%	41,056	2.7%



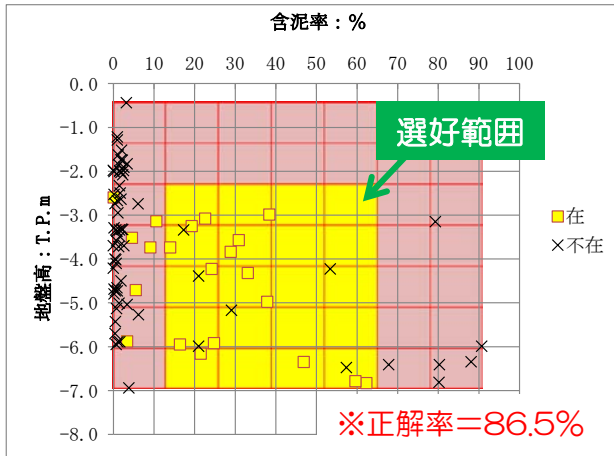
■底生動物のハビタット区分の検討⑱ ～区分2の指標種の生息範囲に対する浚渫の影響評価～

NEXCO

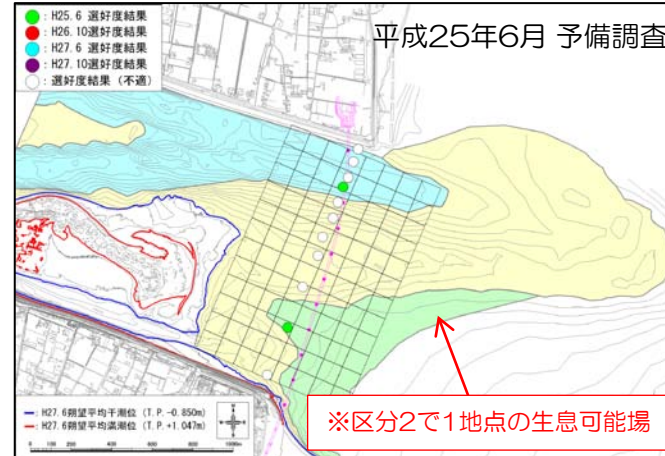
調査年月ごとのチヨノハナガイの選好度結果と実際の出現場所を以下に示す。

チヨノハナガイ

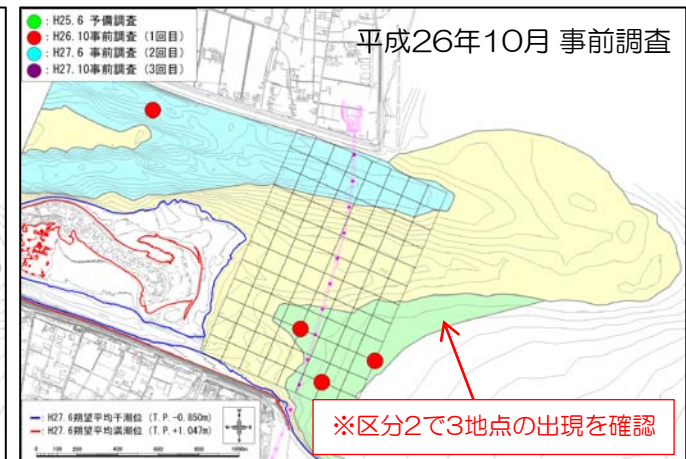
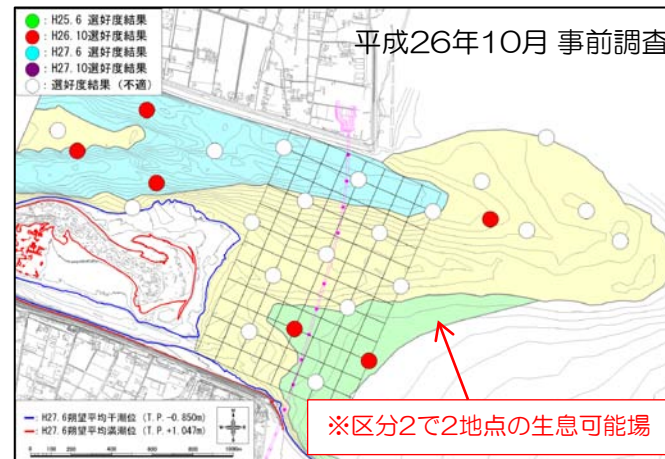
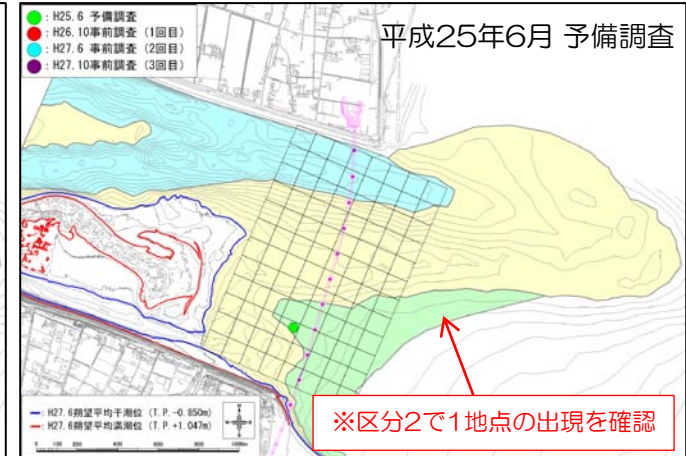
■選好度モデル



■選好度結果

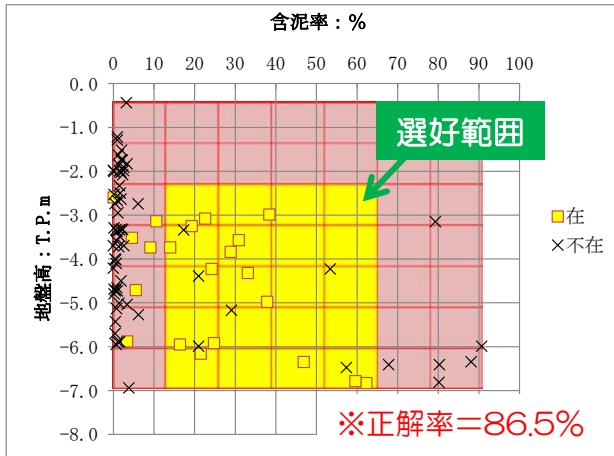


■実際の出現場所

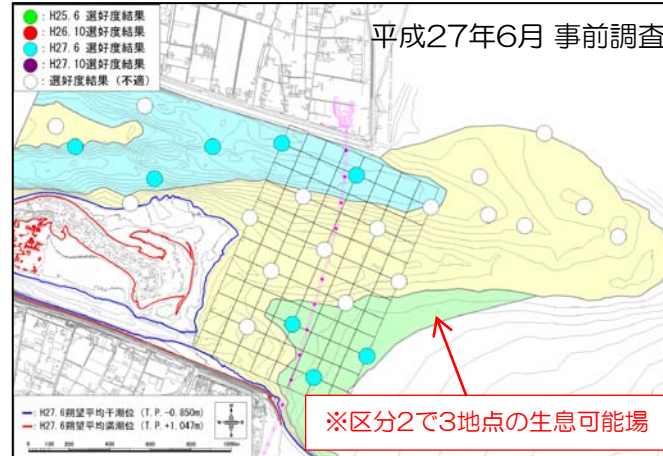


チヨノハナガイ

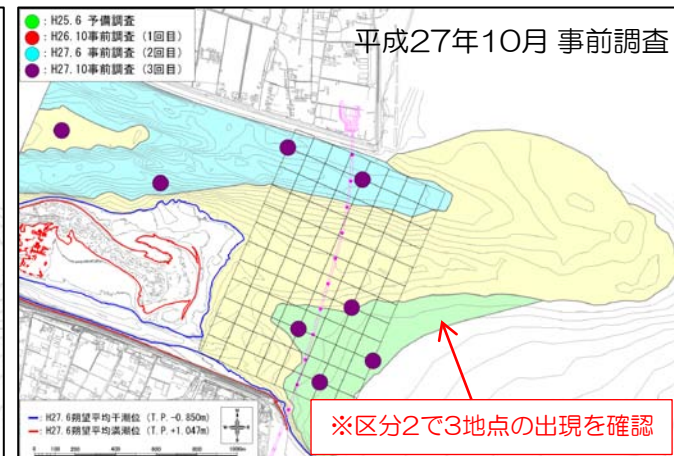
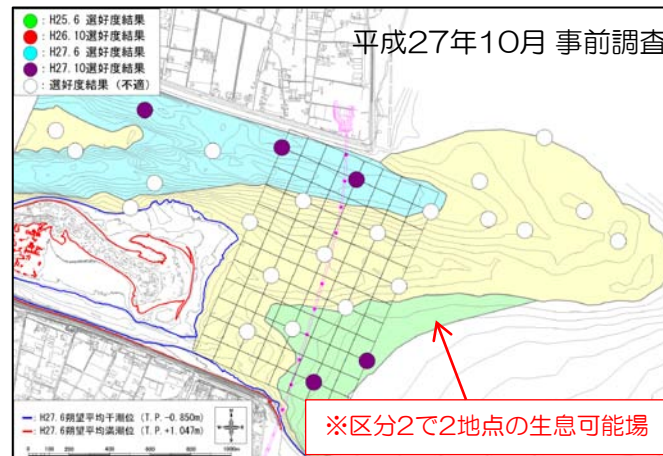
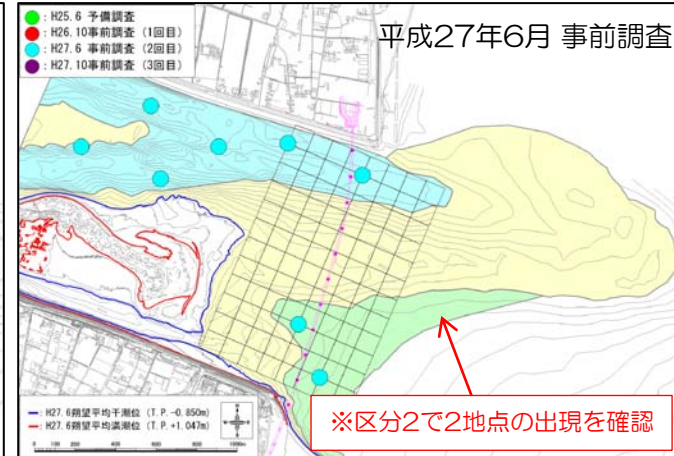
■選好度モデル



■選好度結果



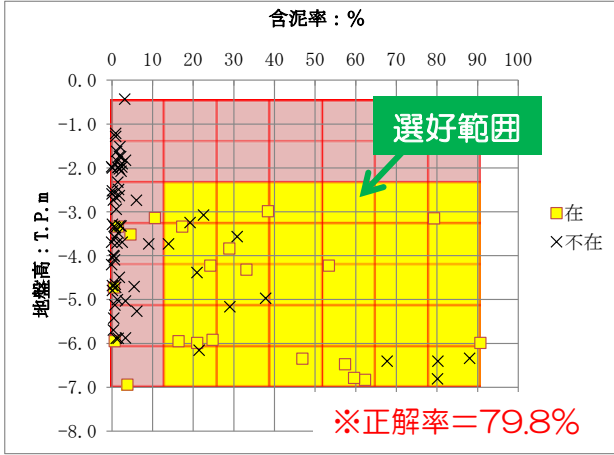
■実際の出現場所



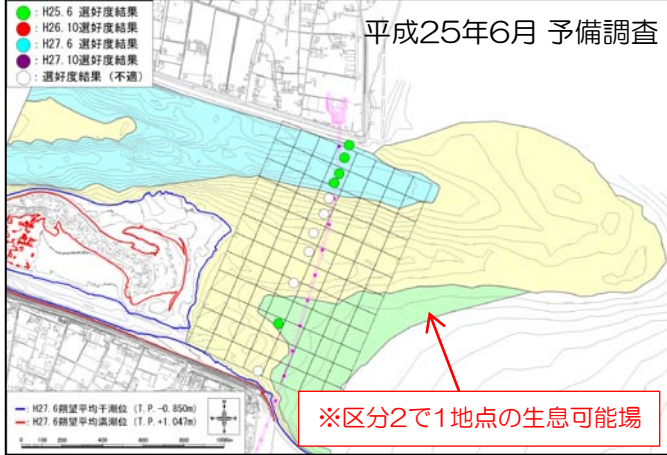
調査年月ごとのシノブハネエラスピオの選好度結果と実際の出現場所を以下に示す。

シノブハネエラスピオ

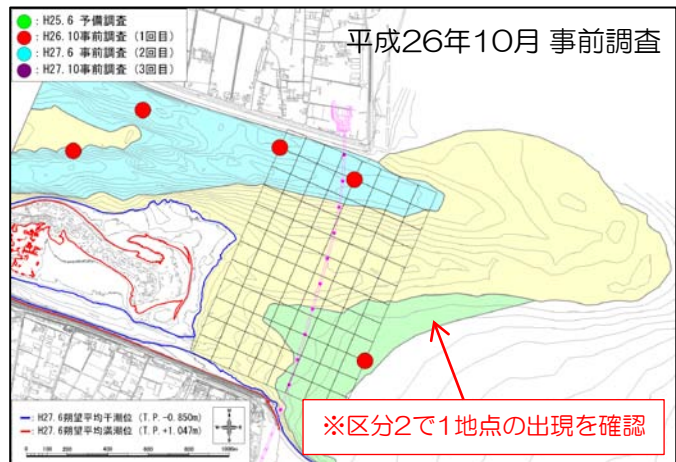
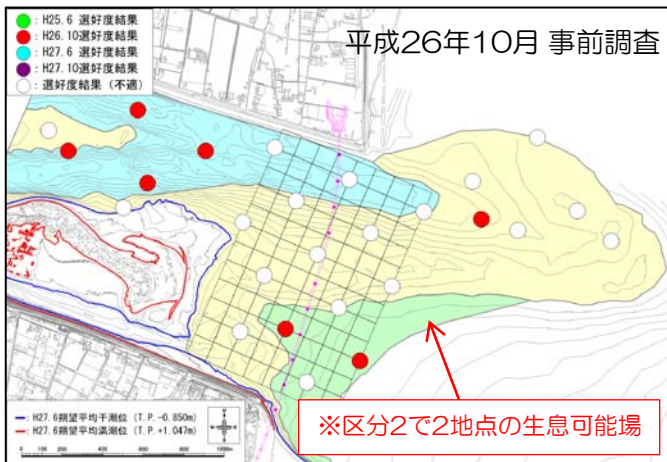
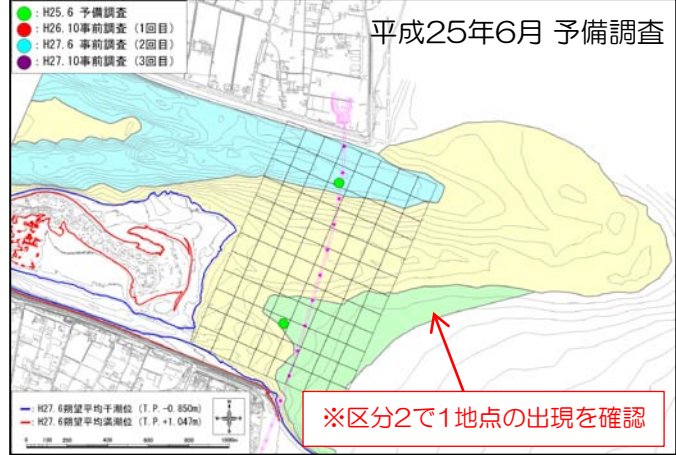
■選好度モデル



■選好度結果

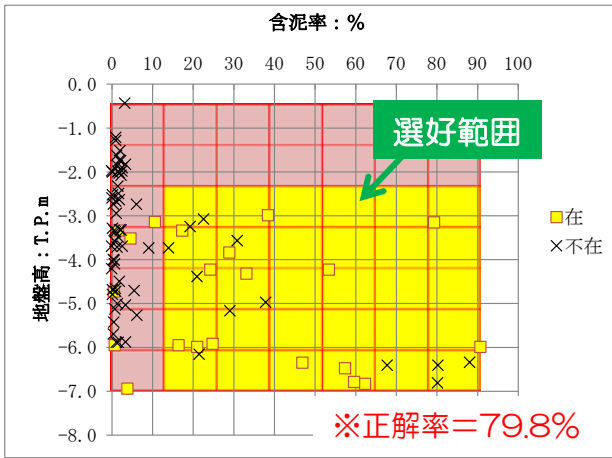


■実際の出現場所

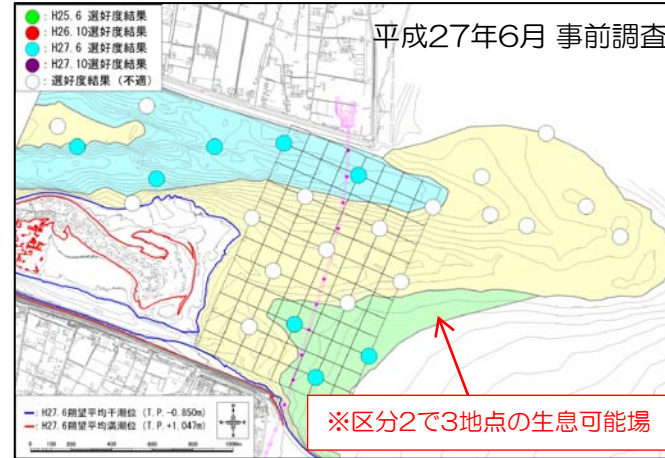


シノブハネエラスピオ

■選好度モデル



■選好度結果



■実際の出現場所

